

りっぷる

Ripple

エスコープ大阪機関紙

第239号

22. **12** .12

C o n t e n t s

P2

・インタビュー続き
・活動報告
南河内地域準備会「エスチャンネル」

P3

・組合員紹介 ・職員紹介

P4

・「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪
・理事会報告 ・おたよりネット
・編集後記

おおぜいを巻き込んで ゲノム編集食品に“NO!”

2020年12月、ゲノム編集技術によって作り出されたGABA高蓄積トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」が日本初のゲノム編集食品として国に受理されました。認知度を上げる戦略として、翌年春にはゲノム編集トマトの販売会社が家庭菜園用の苗を4000人に無償配布。さらに22年に福祉施設、23年に小学校へ無償配布する発表がありました。生活クラブ連合会では反対行動を各地ですすめており、エスコープ大阪でも、この無償配布計画に反対行動を起こすことを決定し、大阪府教育委員会や配達エリア内にある全小学校506校に対し、苗を受け取らないよう要望書を届け、アンケート調査を実施しています。今回は、生活クラブ千葉でオンラインフォーラムや署名などの反対行動を展開する理事・環境委員長の畔上さんにお話を伺いました。

(聞き手:環境担当常務理事 山路 登葉)



生活クラブ千葉 理事・環境委員長
畔上久美さん

いのちの源である遺伝子を操作することに強く反対

山路 ゲノム編集トマト苗の無償配布に関し、生活クラブ千葉では活発な反対活動をされていますが、その経緯についてお聞かせください。

畔上 生活クラブ千葉は、2005年から遺伝子組み換え(以下、GM)ナタネ自生調査活動に取り組んでいます。千葉港にはGMナタネが自生していることが多く、GMナタネ自生調査の報告を兼ねた学習会を毎年秋に実施しています。2020年には初のオンライン開催をしました。

山路 「食政策センタービジョン21」や「北海道食といのちの会」から講師を招いての今年のオンラインフォーラムは、これまでの活動の積み重ねがあって実現したのですね。

畔上 今年は小学校へのゲノム編集トマト苗の無償配布反対行動に合わせて、フォーラムを計画しました。多くの人に参加してもらいたいと考えて土曜日の午後に開催したところ、ア

ライブ配信希望者を含めて166名の申し込みがありました。参加者からは「衝撃を受けた」、「小学校へアプローチしたい」といった感想が寄せられました。

また市町村の首長と教育委員会に「ゲノム編集トマト苗を受け取らないで」と要望書を郵送した際に、「一緒に学んでほしい」という思いもあり、フォーラムのチラシも同封しました。生活クラブの活動に興味を持ってくれたのではないかと思います。

山路 千葉県の知事と教育長に宛てた署名活動はどのように実施されましたか。

畔上 千葉県の他生協と連携して署名活動をしました。県に対してはゲノム編集トマト苗を「受け取らないで」と求めるのではなく「公正な判断を求める」としました。組合員にはフォーラムの報告記事の中で「私たちにできること」として①小学校への要望書提出、②千葉県への働きか

けの2つを呼びかけ、裏面を県宛ての署名用紙にしました。生活クラブ千葉は4万人弱の組合員数ですが、3週間で2851筆の署名が集まりました。また小学校へ届ける要望書は、各自で自由に提出してもらえるよう2次元バーコードで手軽にダウンロードできるようにしました。

私は学生時代に食品科学を学んでいたのですが、食品に関わる遺伝子操作についてその当時知らされなかったことに憤りを感じました。いのちの源である遺伝子を操作することに、私は強く反対しています。私の子どもたちが通っていた小学校にも要望書を届けました。一人で行くのはハードルが高いと感じたのですが、声をかけ合って何人かで一緒に届けてもらえたらうれしいですね。

組合員活動は、組合員みんなで！

山路 今後計画されている活動はありますか。

畔上 2006年に千葉県内に「GMOフリーゾーン(遺伝

子組み換え作物拒否地域)」の看板を3つ立てましたが、経年劣化で必要な修繕費をカンパ活動でまかなおうと考えています。資金を集める活動は、GM反対運動とGMOフリーゾーンの取り組みを組合員に伝えることにもつながります。活動をする際、組織の役員だけに頼るのではなく、できるだけ多くの組合員に関わってもらえるような仕掛けを考えるようにしています。

山路 ゲノム編集技術について小学校ではまだ認知度が低い状態です。エスコープ大阪では、回答がない小学校には環境委員が電話で説明をしながら「受け取らないでほしい」という私たちの要望を伝えていきます。

ゲノム編集食品に関しては、食品としての安全性が確認されておらず、環境影響評価(環境アセスメント)もされず、表示義務もないことから消費者の知る権利、選ぶ権利が侵害されています。知らないうちにゲノム編集食品を食べてしまうことにならないよう、組合員一人ひとりがゲノム編集食品の問題点について情報を発信し、おおぜいの組合員と共に活動をすすめていきたいと思います。

活・動・報・告

南河内地域準備会

エスチャンネル

9月29日(木)
エスコープ大阪本部
(堺市南区)

南河内地域準備会
担当常務理事
山路 登葉

イチからチョコレートを作りました！

南河内地域準備会では、現在4名の登録メンバーで「エスチャンネル」をすすめています。6月に民衆交易をテーマに取り上げ、メンバーで意見や情報の交換をしました。今回は民衆交易の第2

回目特定非営利活動法人「APLA」(あぷら:Alternative People's Linkage in Asia)職員の野川未央さんを講師に迎えてオンラインでつなぎ、チョコレート作りを教わり、民衆交易について考えました。「農民の自立と地域作り」そして「都市と農村に暮らす人々との顔が見える連帯・信頼」をめざすAPLAは、『食べるカタログ』の『 balanゴバナナ』や『マスコバド糖』の輸入をする「(株)ATJ」(オルター・トレード・ジャパン)と共に民衆交易をすすめています。

『パプアのチョコレート カカオ67%』と『チョコラ デパプア 生チョコレート・トリュフ』のカカオ豆の生産者は栽培に留まらず、一次加工までおこない現地の人々の収入増につながっていることや、APLAの活動により生産

者は自分たちが作っているものの価値に気づき、輸出するだけでなく、現地でもカカオを使ったアイスクリームなどの製品を販売するようになったことを知りました。

「エスチャンネル」のメンバーからは「多くのカカオの生産には児童労働の問題があります。同じような年頃の子どもたちも今日の話を知ると、きっと何か感じることもあるはず。子どもたちにも伝えたい」という感想がありました。

チョコレート作りは、カカオ豆を焙炒し、すり鉢でなめらかなるまですりつぶします。班に分かれ、どちらの班がカカオを細かくすりつぶせるかで競い合いになるなど、楽しく作りました。イチから作ったチョコレートの味は、最高でした! 今回はチョコレート作りにはさまざまな工程があることを学び、原材料が環境や現地の人々の生活に配慮されたものとそうでないものがあることを知りました。現地の生産者と交流を持ちながらすすめる民衆交易によって、私たちは持続可能な適正価格を考えられるようになり、現地の人々の経済的自立につながることでできる消費材を食べていきたいと思えます。

紹介します!!
うちの地域の
組合員さんです



みんなで食について考え、 食べる仲間を作っていきます!

豆多 育子さん
[堺市街地地域]

豆多さんは、消費材について組合員が原材料まで確認



していることに良さを感じ、エスコープ大阪に加入されました。生活クラブ連合会の「夢都里路くらぶ」でサクランボやジュース用トマト収穫の援農に行かれたこともあるほど行動的です。生産者と直に会い、化学肥料や農薬に頼らずに育てられた野菜に圃場で接したことは、貴重な経験となったそうです。

好きな消費材は『和牛』で、特に予約で不定期に届くヘレがお気に入りです。肉類や卵などは飼料も明らかなので、安心して食べられます。また、消費材を「よやくる」で食べ続けることは安定した生産につながり、農業を支えていくとの思いがあり、生産者や地域の情報がわかるカタログや地域ニュースなどを読むことも大好きです。

メンバーに登録している「消費コミュニティ」で発酵食品について調べ、納豆の「(株)エイコー食品」の生産者交流会に参加され、日本の農業の現状や産地などについても知りました。消費コミュニティで集まった人たちと共通のテーマで話をし、同じ思いを実現に向けて動いていくのが楽しいそうです。

聞き手:堺市街地地域理事 川 弘美

和牛ヘレ

(株)生活クラブ関西・ミート

今では希少品種となってきた褐毛和種(あか牛)。熊本県の「淵上牧場」と「麻井牧場」で肥育。飼料のトウモロコシ・大豆粕は遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別しています。

関西6生協の『和牛ヘレ』登録者で順番に利用していく食べ方。現在の登録者と処理頭数の状況では年1~2回のお届けとなっています。お届けが確定したら2週間前の納品書の次週以降のお届け欄に掲載されます。次回の登録用紙の配布は6週の予定です。



職員さんが
自己紹介!!

今日もゆっくりひなたぼっこ



日向 克太(26歳)
エスコープ大阪
在籍年数1年3ヵ月
[共同購入フロア・堺支所]



私の名字は「日向」と書いて「ひなた」と読みます。珍しい名前ですが覚えてもらえたらうれしいです。泉州地域や堺市街地地域(松原市を含む)エリアの配達をしています。エスコープ大阪ではまだまだ若手です。若い力で元気に配達をしています。

趣味は旅行です。長期の休みがあるとすぐにどこへ行こうか考えてしまいます。今年の夏休みは沖縄の本島に行き、シュノーケルやカヌーをしました。沖縄ののんびりとした開放的な雰囲気が好きで、来年も行こうかと考えています。

私は、入協するまではまったく食に興味がない日々を過ごしていましたが、初めて「(株)ウインナークラブ」の『豚肉』を食べた時に衝撃を受けました。シンプルに焼いただけなのに、「臭みもなくおいしい!」が最初の印象です。そこから食について興味を持ちました。今、私はハマっている消費材は『生乳100%ヨーグルト』です。食べ始めてから便秘も改善し、自分の腸に合うヨーグルトに出会えました。おすすめの消費材なので組合員の皆さんもぜひ食べてみてほしいです。

↑よやくる↓

生乳100%
ヨーグルト
新生酪農(株)



パステライズド牛乳と同じ生活クラブ指定酪農家の生乳と乳酸菌のみでつくったヨーグルト。マイルドな酸味で食べやすいプレーンヨーグルトです。乳脂肪分3.2%。



「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

vol.9 『組合員活動③』

協同組合は共通の目的を持った人同士が自発的に集まって作る組織で、出資して組合員となって事業を利用し、運営に関わります。エスコープ大阪が主軸としておこなっている「共同購入事業」や「福祉事業」などをすすめています。運動を事業化し組合員自らが利用推進や組合員拡大をすすめています。生協法でも原則として相互扶助が定められていますが、今回は「たすけあい福祉」の組合員活動についてお伝えします。

私たちの相互扶助とは何か

1995年に発生した阪神淡路大震災は、生協本来の「お互いさまの助け合い」の相互扶助の考え方を再認識するきっかけとなりました。交流のあった生活クラブ都市生活(兵庫県・当時は生協都市生活)を通じて、現地への救援活動や支援ボランティア活動から、あらためて地域コミュニティの大切さに気づき、「お互いさま」のつながりを大切に活動・事業の必要性を実感しました。

さまざまな意見がある中、組合員による討議を重ねた結果、1996年をエスコープ大阪の「福祉元年」としました。このエスコープ大阪の福祉政策のもとに、組合員による助け合いサービスを地域に生み出していくことを確認しました。まず家事サービスを担える人材を育成していこうと、各地域で「福祉出前学習会」を開催し、組合員に理解を広げる活動が始まりました。

やりたい思い行動はつながっていく

すでに地域で「ネットワークゆう」を立ち上げ、助け合いの活動をしていた組合員の永野恵美子さんも一緒に地域へ出向いて、地域での助け合いの必要性への理解をすすめました。それまで組合員活動の経験がまった

くなかった組合員も関心を持って多数参加し、助け合いのしくみ作りを期待する声や、参加者がスタッフになる意思を表明するなど地域の中に活動グループができました。

南河内地域組合員の柴田恵美子さんは、地域委員、個人配達の運転、地域理事と経験を重ねる間に「ワーカーズ・コレクティブ」という新しい働き方を学び、南河内地域で個人配達の「ワーカーズ・コレクティブ「あすか」」を地域の組合員で立ち上げ、スタッフとして働いていました。そして先述の震災経験や各地域での学習会を経て南河内地域に「ワーカーズ・コレクティブ「はんど」」を立ち上げます。

このような組合員活動から生み出されたさまざまな経験がもととなり、2000年の介護保険制度施行にあわせてエスコープ大阪の事業としても福祉事業を加え、訪問介護事業所のSOS泉北(エスコープ大阪サポー



トセンター泉北)やデイサービス事業所の「よりあい金剛」を開所しました。

完成直後のよりあい金剛(上)と移転前の寺池台にあった頃のよりあい金剛(左)



第5回
理事会報告 <11月9日>

【9月度決算報告】

●供給高 2億2,963万円
(前年同月比102.3%)
*配達日数1日多い

●組合員数 18,932名(前月比△32名)
●一人当たりの出資金 89,034円

【10月の放射能検査結果】

10月は連合消費材722検体、関西消費材3検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①新DC建設に伴う土地取得分担金の拠出
- ②規則・規程類の一部変更
- ③「エスコープ大阪サポートセンター常勤職員賃金規程」「エスコープ大阪サポートセンター非常勤職員賃金規程」の変更
- ④「風来里」の利用規程

【協議事項】

- ①各地域の担い手づくりの進捗状況の確認と意見交換
- ②新型コロナウイルス禍での「子育てひろば」開催について
- ③関西圏のワーカーズ・コレクティブ運動推進に関する共同声明の改定
- ④豚肉政策(案)の単協討議
- ⑤2022年度「よやくる」温州みかん取り組みまとめに向けて
- ⑥原発推進方針の撤回を求める意見書提出および賛同団体となる提案
- ⑦2022年度上期サークル活動報告および2022年度下期サークル活動計画とたまり場サークルの活動停止について

【報告承認事項】

- ①よやくる取り組みについて
- ②選定品目入れ替え後の実績点検と単協活動集約

おたよりネット

「rippる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

237号3面
「うちの牛乳、一度飲んだらやめられない!」を読んで
紙面モニター Fさん

櫻井さんにいつも配達をしてもらっています。酪農関係の勉強をされていると伺い、いつも牛に関する情報を教えてもらっています。牛のスペシャリストでもある櫻井さんも衝撃を受けた「パステライズド牛乳」、私の家族も愛飲しています。乳牛の飼料も殺菌方法も安心安全で嬉しい限りです。

キトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●お名前

●地域名

●班・コース名

●組合員コード

理事会事務局行き

239号(2022.12.12)

編集後記

ゲノム編集食品については多様な意見がありますが、安全性が確かめられていません。それなのに小学校で無償配布し、子どもたちを巻き込むことに憤りを感じます。大人の私たちがしっかりと「NO」を伝え、子どもたちを守っていききたいと思えます。(Y)

キトリ

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/